

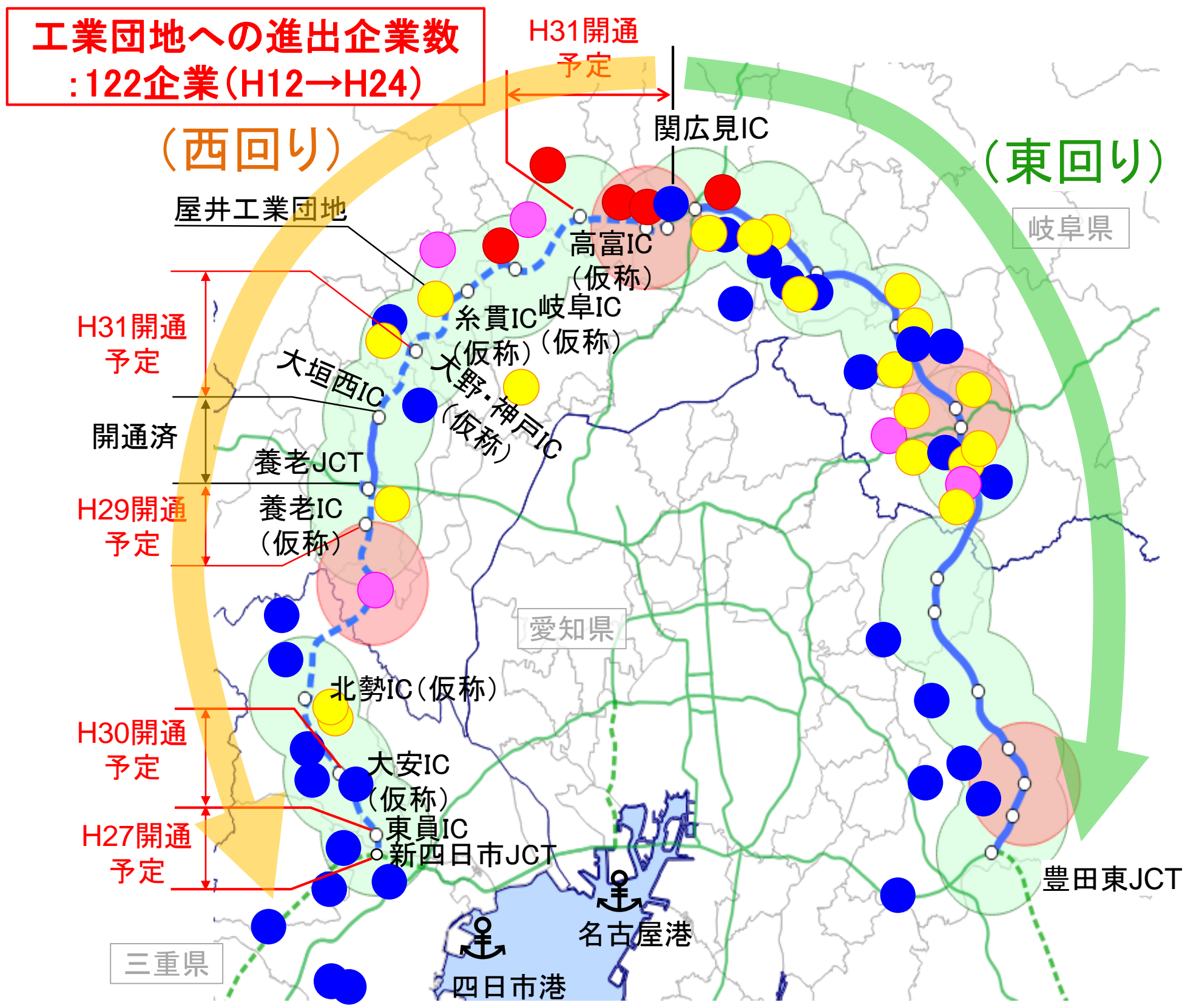
環状道路が民需誘発！ 企業拠点が増えた！



東海環状自動車道(岐阜県・愛知県・三重県)

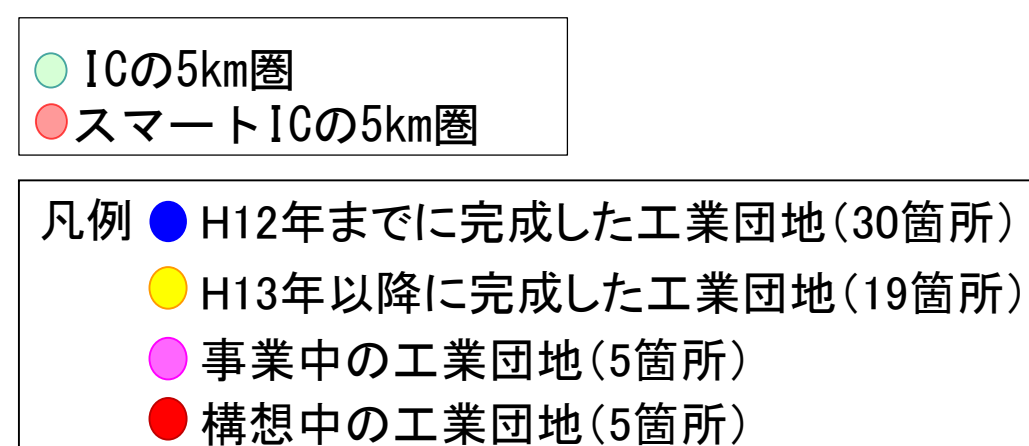
before after

東海環状自動車道沿線市町の工業団地の立地状況



※平成27年3月末時点

- 1 岐阜県・愛知県・三重県にまたがる東海環状自動車道では、東回り全線工事着工後、延べ122企業が進出
- 2 沿線市町の製造品出荷額等は、既に通した東回り沿線、今後開通していく西回り沿線共に、約1.4倍に増加
- 3 また、西回り沿線では海外進出していた企業が17年ぶりに国内拠点を増設



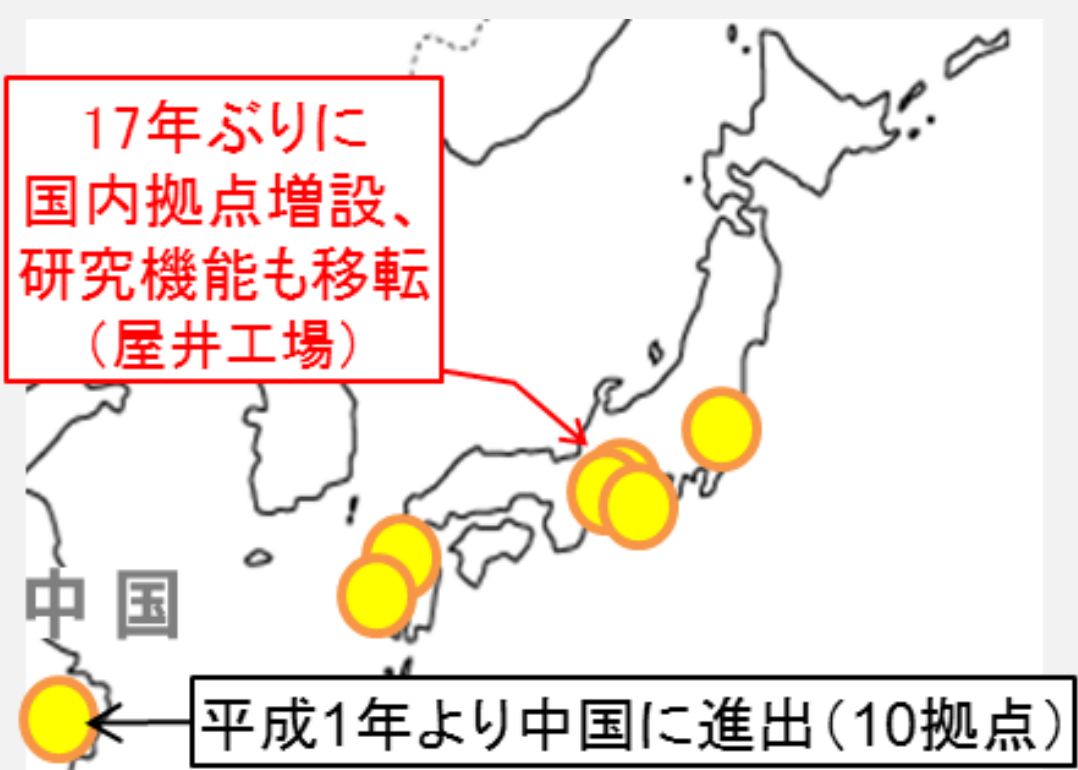
世界的企業の立地

<会社概要>

森松工業はタンクのパイオニアとして世界をリード。
ステンスタンクのリーディングカンパニー国内シェア7割。
タンクで培った技術を応用し、航空宇宙産業にも事業を拡大。

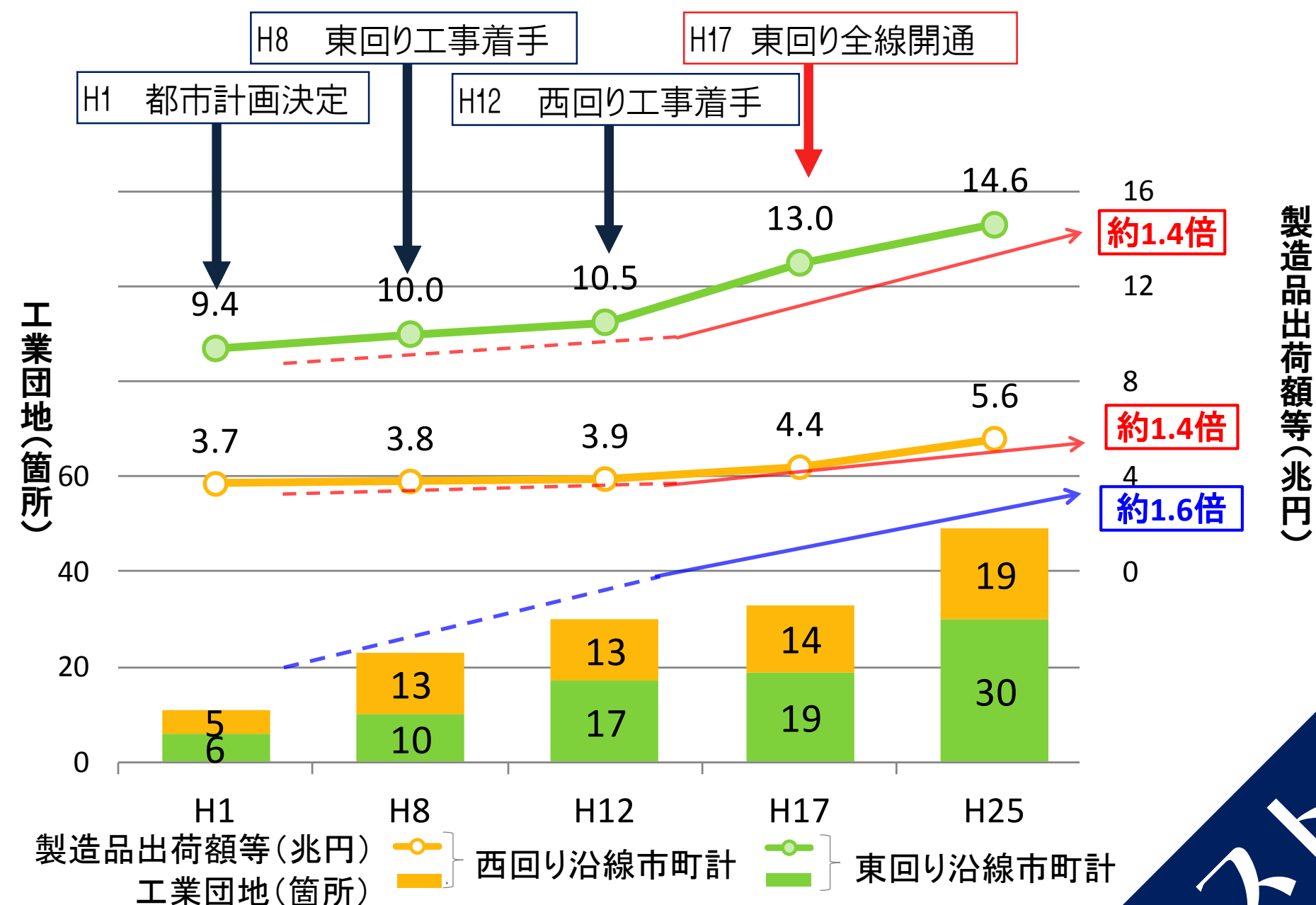
<企業の声>

- 工場立地に重要な要因は、陸・海・空のインフラが整備されていることが必要。
 - 東海環状自動車道(西回り)の整備により、西濃地域の産業発展に期待している。
- ※岐阜県道事務所ヒアリング調査(H27.4)



工業団地と製造品出荷額等の推移

東海環状自動車道整備により、企業立地が増加



ストロウ効果

内陸の大動脈がもたらす 産業・防災拠点の新たなフロンティア



before

新東名高速道路開通前(H18)

after

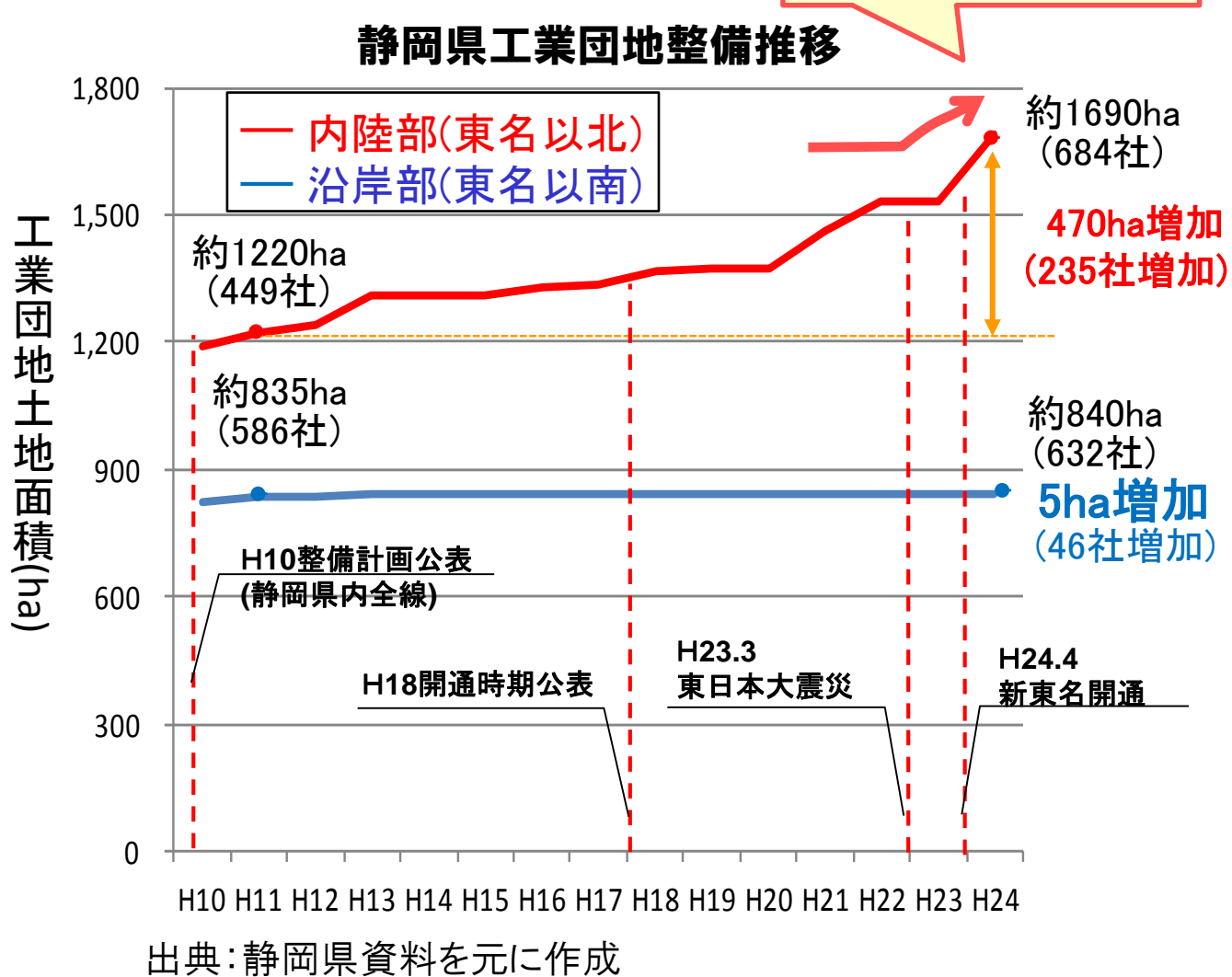
新東名高速道路開通後(H24)



- 新東名高速道路の開通時期が平成18年に公表されて以降、津波の被害がなく地盤が強固な内陸部の開発が加速
- 静岡県においては、「内陸のフロンティアを拓く取組」を推進
- 新東名高速道路を軸とした、防災・減災と地域成長の両立を図るまちづくりを推進

内陸部へ工業団地開発が拡大

内陸部の開発が加速



内陸部・高台部のイノベーション

【内陸部への企業進出事例】

<浜松市北区:スズキ(株):雇用人数2,200人※2>

「東日本大震災の発生を受け、津波被害が予想される静岡県磐田市竜洋地区拠点の移転のために浜松市北部の都田(みやこだ)地区に用地を確保。災害に対する対応力を高めてまいります。」※1



写真: 浜松市提供

出典: ※1スズキ(株)資料
※2静岡新聞

沿岸・都市部のリノベーション

【内陸部への企業移転後の跡地利用例】

内陸部に移転した企業跡地の農地化を推進する等、沿岸・都市部のリノベーションを推進



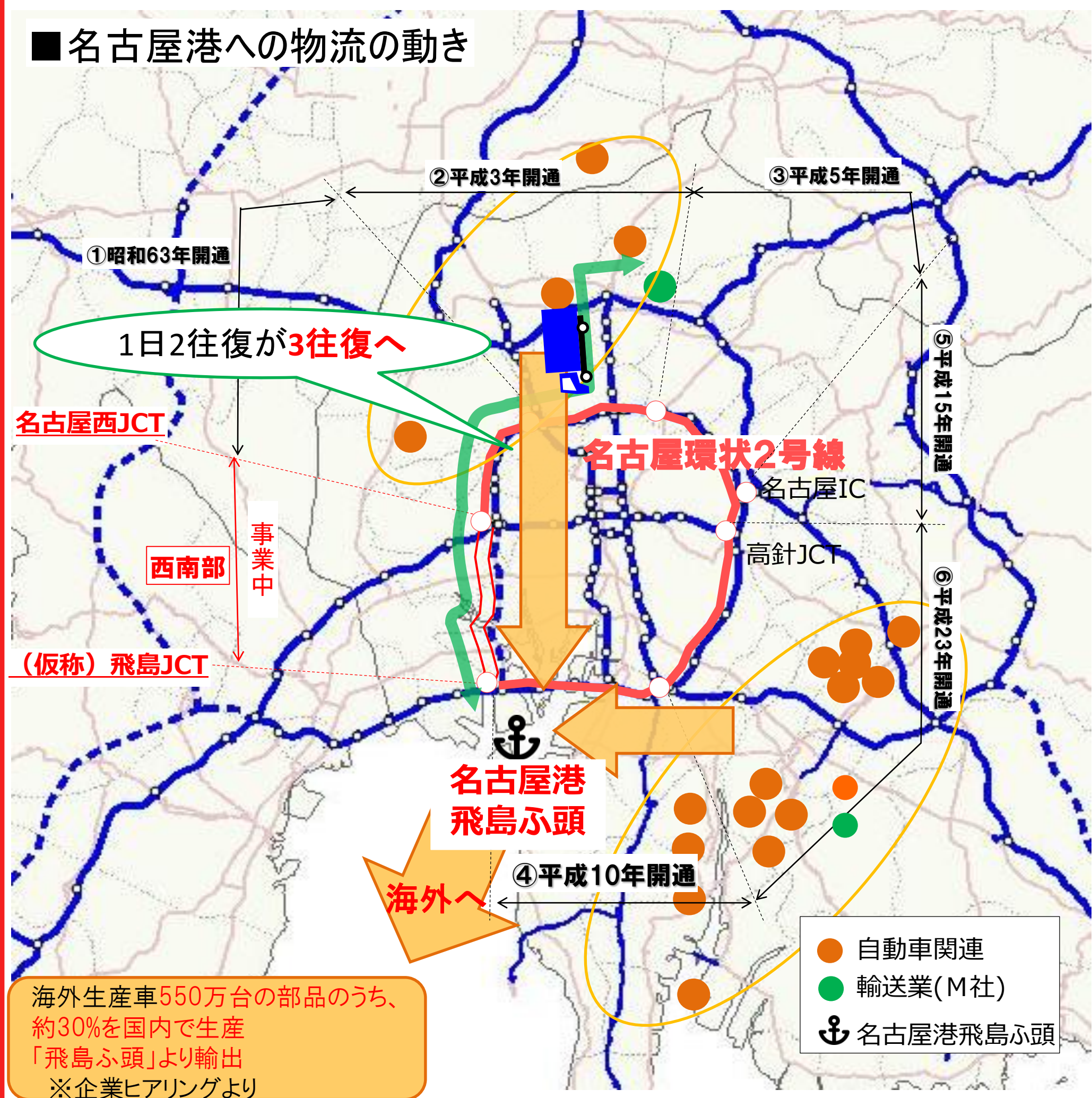
ストツリ効果

1日2往復が3往復に トラック人材不足に備える！



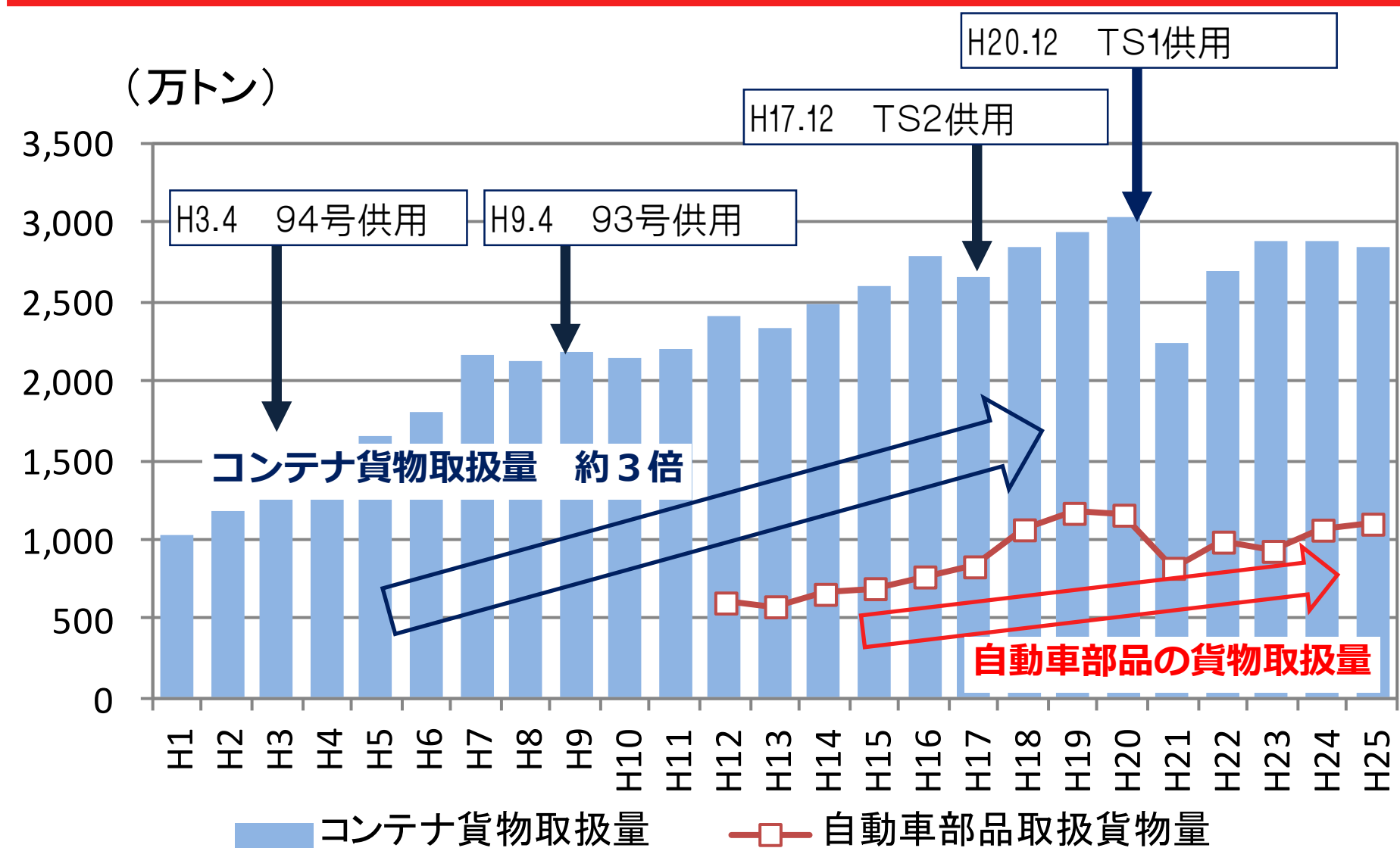
名古屋港・名古屋環状2号線(愛知県)

● before >>> ● after



- 1 名古屋港飛島ふ頭のコンテナターミナル整備により、海外向け自動車部品等のコンテナ貨物取扱量は約20年で約3倍に増加。
- 2 名古屋環状2号線の整備により、小牧市～飛島ふ頭間の物流の回旋数が増加(1日2往復→3往復)と物流効率化(企業ヒアリングより)。

飛島ふ頭のコンテナ貨物取扱量の推移



出典：名古屋港管理組合「名古屋統計年報」より作成※公表されている自動車部品の貨物取扱量はH12からのみ

民間活力との連携

民間活力と連携し最先端機材を導入・物流効率の更なる向上を図る



ストロウ効果

道路ができた！ 企業も成長！



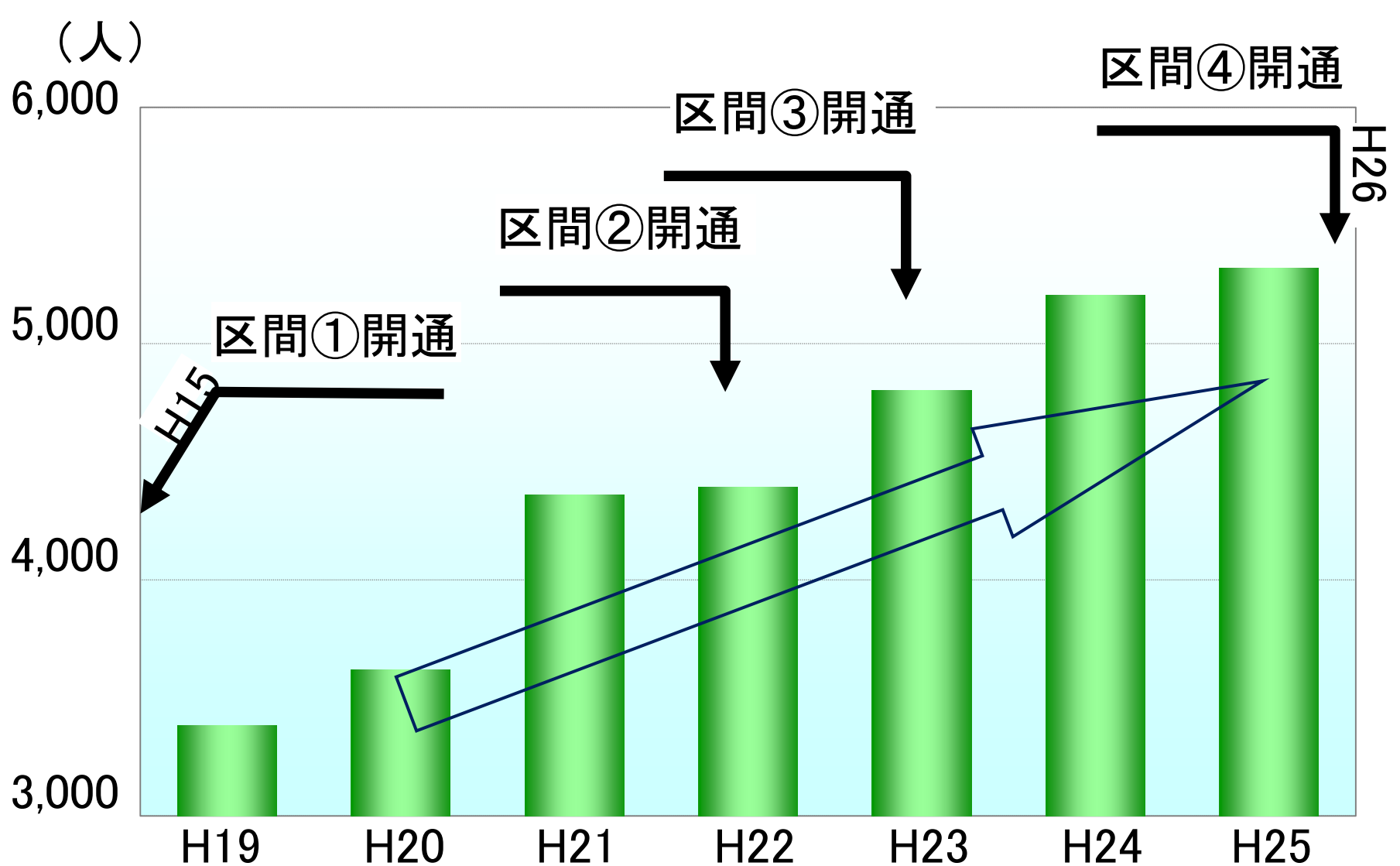
〈立地例〉 東芝四日市工場(第5棟) 竣工:平成26年9月

before >>> after



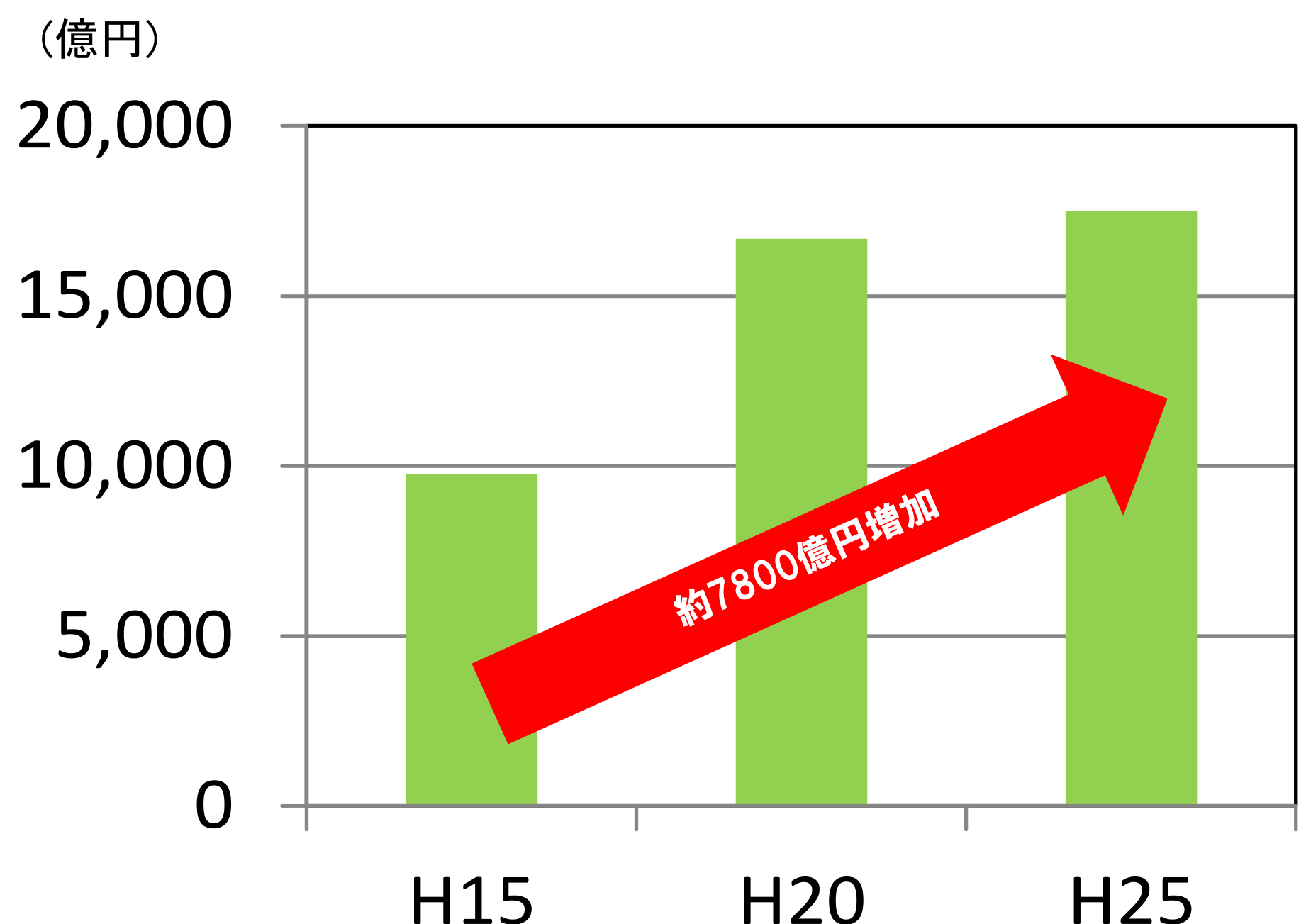
- 北勢バイパスの整備と合わせて半導体産業などの東芝が、**大胆な設備投資**、それによって**新たな雇用**が創出
- 国際競争を勝ち抜く努力を続ける企業を、北勢バイパス・四日市港の整備によって**支援**
- 四日市市基礎素材型産業が**中部・近畿圏**でナンバーワン

東芝(四日市工場)従業員数の推移と北勢バイパスの整備経緯



※出典:(株)東芝「有価証券報告書」より抜粋

四日市市における基礎素材型産業の製造品出荷額等の推移



※出典:三重県工業統計調査

ストロウ効果